



みんなで考える

笛吹市との包括連携協定について



学んだことをより深める

笛吹高校では、教育目標として「地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成」を掲げ、「学んだことを活かす」場面を設定し、積極的に社会参画に資する人材育成を目指しています。

これまでも実践的な学習の場として、笛吹市内の教育機関との連携、市内イベント等への参加など学校という枠組みを超えた具体的な取り組みが進められてきました。これらの連携事業は、私たちが普段、授業や実習、課外活動等で学んだことをより深め、自身の生き方や在り方、シチズン意識の醸成などについて考える重要な機会でありました。

そして、このたび4月12日(水)、笛吹市との間でこれらすべてを網羅した正式な協定を結び、新たな一歩を進めることになりました。

自分たちの地元に向け、地域の魅力を知る

わたしたち笛吹高校生は、卒業すると進学者の7割が県内の大学や専門学校へ進でいきます。就職者においてはそのほとんどが県内に留まっているのが現状です。しかしながら私たちは、在住する山梨県や地元地域のことをどれだけ知り、どれだけ誇りに思っているでしょうか。あなたは、他所にはないこの地域の風土や産業の特色について自らの言葉で語り、伝えることができるでしょうか。

山梨県には外国人を含め、多くの方が観光目的で訪れます。私たちにはその魅力について認識を深め、活用する方策について意見を交わすことが必要なのではないのでしょうか。笛吹市と包括的に連携を進め、お互いの地域資源、教育資源をつなげることによって、私たちは地域のことを正しく理解し、地元に着や誇りを持ち、この地域の将来を担っていかなければなりません。

想定される連携内容

- 教育・文化の振興に関すること
 - ・小中学校、幼保育所との教育連携（出前授業・訪問活動など）
 - ・本校の文化部、体育部の地域での活動
- 地域産業の振興・人材育成に関すること
 - ・農業振興や後継者問題など地域が直面する課題への支援・提言
 - ・地域特産品等を活用した商品開発
 - ・慣行に関する教材開発・実践活動
- 地域防災に関すること
 - ・地域防災機能としての学校の在り方（食品製造や介護の施設、技術の提供など）
- 施設の利用・活用
 - ・双方の体育施設・文化施設の活用促進

アイデア募集

自ら課題を発見し、主体的にものごとを考え、協働しながら解決を導き出す人は社会に出ても能力を発揮し、活躍の場を広げることができます。

よりよい地域社会、住みやすい生活環境などを実現するため、LHRや総合的学習の時間などあらゆる学習場面を通して、地域社会と連携してできることを考え、提言してみましょう。